

# にじいろ & フレンズ

令和4年12月16日  
NO.35



## ピカピカ班であったかメッセージ交換 12/14



14日(水)に、ピカピカ班であったかメッセージの交換を行い、縦割り班で取り組んでいる清掃活動の様子について、互いの良さや頑張りを伝え合いました。友達から頑張っている姿を認めてもらい、自分のよさに気付くことができました。嬉しそうにメッセージを読む姿が見られました。



☆受け取ったメッセージを紹介します。

〇〇さんは、せいそうが上手ですね。すみずみまでふいて、スピードもはやいです。きっとみんなにもほめてもらえると思います。ぼくは、おうえんしています。

〇〇さんは、きょうしつにはやく来ていて、とてもすごいと思います。ゴミすても、自分からすすんでできていいと思います。これからもつづけてください。

〇〇さんは、いつもいっしょうけんめいていねいに、そしてすばやくそうじをされていてすごいと思います。これからも続けてください。

## 地域の伝統・文化を学ぶ! ~桑取谷に伝わる「里神楽」「盆踊り」~

社会科の学習では、今、「地域で受け継がれてきたもの ~地域に伝わる伝統、文化~」について学習をしています。また、4年生の音楽の学習で「地域に伝わる音楽に親しもう」という单元もあることから、12日(月)にかみえちご山里ファン倶楽部の三浦さんを講師にお迎えし、桑取谷に伝わる「里神楽」、そして「盆踊り」について教えていただきました。

それぞれの地域のお祭りで行われる里神楽ですが、桑谷里神楽伝承会主催による「月満夜の里神楽」が、9月に谷浜小学校体育館で開催されました。また、小学校では5,6年生が里神楽に挑戦しています。今回の学習では、里神楽の舞の種類や意味、この地域で受け継がれてきた背景などを教えていただきました。3,4年生の中には、まだ神楽を地域のお祭りで見ることがないという子もあり、紹介動画を集中して観ていました。

また、笛と太鼓にも挑戦させていただきました。笛や太鼓は、約100年前に作られた教科書をもとにしながら、「口伝」と言い、口で教え伝えられてきたそうです。初めて笛を吹くという子がほとんどで、音が出ず苦戦していましたが、少しずつ慣れて音が出せるようになり、喜ぶ姿が見られました。

盆踊りは、「ヨウホイ」と「ハリヤリヤンリヤ」について教えていただきました。どんな歌詞でも合わせられるため、その場の雰囲気や歌い手が即興で歌詞を作り集まった人たちと楽しむという、盆踊りの良さを教えていただきました。歌詞作りにも挑戦し、自分たちの作った歌詞で踊ってみました。

今回は、スペシャルゲストとして和瀬田さんにもお越しいただきました。里神楽の歴史を教えてください、盆踊りの歌を歌っていただいたりしました。和瀬田さんとも楽しく活動することができ、里神楽や盆踊りに親しむ貴重な機会となりました。

## 〔お礼の手紙より ～感想～〕

笛や太鼓がむずかしかったです。盆踊りでは、ひとばん中おどったり、歌ったりして、むずかしそうに思えてきました。踊りは、少し踊っただけでもつかれました。ぼくも、この2つをやってみたいです。

最初は、笛や太鼓がうまくできなかつたけど、最後はうまくできました。里神楽の獅子舞をやる意味も、くわしくわかりました。

笛は、ふくときに息を入れるところがむずかしかったです。盆踊りは、足をあげて踊るところを覚えて踊ったところがとても楽しかったです。

この地域に6人も教えてくれる人がいるし、口伝で教えているのにびっくりです。盆踊りは、自分で歌詞を作るのがむずかしかったです。ここ3年盆踊りができないのは残念でした。でもコロナが落ち着けばできるのはうれしいです。

私は、特に笛をふくのが楽しかったです。地域の里神楽の笛も、口伝で教えてふくのがびっくりしました。また、里神楽の動画を見て、分かるところがふえました。盆踊りが楽しかったです。

